

境界を揺るがす

映画『トークバック』上映会、坂上香監督を迎えて

日時：10月20日（月）16：00～20：00（開場15：30）

場所：立命館大学衣笠キャンパス 創思館1階カンファレンスルーム

（※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。）

16：00－18：10 映画『トークバック』上映

18：30－20：00 トークバック・セッション

参加無料。入退場自由。



監督・製作・編集：坂上香 / 2013年 / 日本 / 119分

TALK
BACK
SESSION

坂上香（映画『トークバック』監督）

池内靖子（演劇論、ジェンダー論）

金満里（劇団「態変」主宰）

『トークバック』とは _____
『声をあげ』、人々と『呼応しあう』こと。

女たちのアマチュア劇団 —舞台はサンフランシスコ。
元受刑者とHIV/AIDS陽性者が、自分たちの人生を芝居にした。
暴力にさらされ、“どん底”を生き抜いてきた女たちの現実とファンタジー。
舞台上、日常で、トークバック（声をあげ、呼応）する女たち。
彼女たちの演劇は芸術か、治療か、それとも革命か？

暴力にさらされ、沈黙を強いられてきた8人の女性たち。本作では、経験も人生も決して交差しあわなかった女性たちが自身を見つめ、互いに勇気づけ、ひとつの舞台を作っていく姿が映し出されています。彼女たちの自己表現の姿は、人が自らの言葉を取り戻していくことの力を教えてくれます。

上映後のトークバック・セッションの時間をとおして、本企画が、人と人の境界を揺るがし、閉塞した社会状況を脱する回路となればと考えています。

お問合せ：立命館大学生存学研究センター事務局 Tel：075-465-8475 E-mail：ars-vive@st.ritsumei.ac.jp

主催：立命館大学生存学研究センター 共催：立命館大学人間科学研究所「インクルーシブ社会に向けた支援の〈学=実〉連環型研究（基礎研究チーム）」

協力：立命館大学国際言語文化研究所ジェンダー研究会 企画：立命館大学生存学研究センター若手研究者研究力強化型プロジェクト「フェミニズム研究会」

本企画は文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「インクルーシブ社会に向けた支援の〈学=実〉連環型研究」プロジェクトの一環としておこなわれるものです。